

美山町文化協会(小畑弘会長)が主催する、新春書初め大会が南丹市美山文化ホールで行われました。

当日は地元の子もたちや、趣味で書道をされている方など、およそ20人の参加者が、文化協会が用意した見本を参考にしながら、新年の思いを込めて、筆を走らせます。

1時間あまりをかけて、したためられた作品は、美山文化ホールのロビーに展示されました。



▲丁寧に気持ちを込めて筆を走らせる参加者

「新たな気持ちで書にしたためる」

(1/19) 新春書初め大会

「天高く舞い上がる炎に 祈りを込めて」

(1/15) そのべとんどまつり



▲長い竹の先に書き初めを付けて炎にかざします

無病息災と書の上達を祈願する恒例のそのべとんどまつりが、園部公園内の屋内ゲートボール場前の広場で行われました。この伝統行事は昭和57年に地域の輪づくりとふれあいの祭りにしていこうと、旧園部町と商工会が復活させ、以来、毎年多くの人でにぎわいます。今年は園部町商工会の主催で行われ、片山誠治商工会長、佐々木稔納市長、市民の代表の方々により点火されました。訪れた人は勢いよく燃え上がる炎に願いを込め、会場で振る舞われたぜんざいに舌鼓を打ちました。

みんなのひろば まちの話題を 紹介します



身近な話題を広報係(0771)68-0019へお寄せください。

「地域の農産物を生かした加工品が勢ぞろい」

地域の農産物を有効に活用し、活動されている食品加工グループの交流と、今後の加工生産や新商品開発に役立てることを目的に、味自慢交流会「南丹地域ふるさと加工食品新商品開発コンクール」が、南丹市日吉町生涯学習センターで行われました。

南丹地域農村女性・加工研究会、京都府南丹農業改良普及センターの主催で行われたこのコンクールには、南丹市・亀岡市・京丹波町の食品加工グループなどから43品が出展。見た目や味など15項目で審査が行われた結果、南丹市からは、京都府南丹振興局長賞に、三色ちまきグループ(日吉町)の「笹栗」、京都府南丹地域農業士会長賞に、農事組合法人大向営農組合(日吉町)の「特産品弁当」、京都府南丹農業改良普及センター所長賞に、案山子の会(日吉町)の「サンヤーコンの粕漬け」、南丹地域農村女性・加工研究会賞には松本則子さん(八木町)の「柚子菓子」と、パン工房農〜実り〜(日吉町)の黒豆黒パンが選ばれました。

(1/17) 味自慢交流会「南丹地域ふるさと加工食品新商品開発コンクール」



▲地域の農産物を生かして作られた43品を審査